

微小粒子状物質成分分析調査結果

平成 25 年度の調査結果は下表のとおりです。季節別では春が PM_{2.5} の濃度が一番高くなりました。また、冬は他の季節より塩化物イオンと硝酸イオンが高くなりました。年度平均濃度の割合は硫酸イオン 44%、アンモニウムイオン 20%、硝酸イオン 4.4%などの二次生成粒子が多く占めました。

微小粒子状物質成分分析調査結果（平成 25 年度）

単位：μg/m³

項目		春 (5月)	夏 (7~8月)	秋 (10~11月)	冬 (1~2月)	年度 平均濃度	成分割合 (%)
塩化物イオン	Cl ⁻	0.036	0.061	0.068	0.26	0.095	0.42
硝酸イオン	NO ₃ ⁻	0.20	0.31	0.85	3.3	1.0	4.4
硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	12	9.0	8.0	8.9	10	44
アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	4.9	4.0	3.8	4.4	4.4	20
その他のイオン成分	Na ⁺ , K ⁺ , Mg ²⁺ , Ca ²⁺	0.29	0.36	0.26	0.46	0.34	1.5
その他 (無機元素および不明分)		6.3	7.8	8.9	4.3	6.7	30
質量濃度	PM _{2.5}	23.9	21.5	21.9	21.6	22.5	

※集計方法は大気汚染状況報告書(環境省 水・大気環境局)のグラフに準じた。